

日本初！最新の手術用ナビゲーションシステム「Lantern Hip」を用いた人工股関節手術を実施いたしました

この度、東北労災病院において、日本で初めてとなる最新の手術用ナビゲーションシステム「Lantern Hip」を使用した手術が無事に実施されました。

① 「Lantern Hip」を用いた高精度な手術の実現

「Lantern Hip」は、米国のOrthoalign社が開発（Zimmer-Biomet社輸入）したナビゲーションシステムです。日本国内での初使用（第一号）となる今回の手術は、当院の千葉大介医師により、仰臥位前外側アプローチによる両側人工股関節全置換術として行われました。

本システムを使用することで、以下のような特徴とメリットがあり、より安全で正確な手術の提供が可能となります。

② 特徴とメリット

- 高精度なサポート：加速度センサーとジャイロスコープ（傾きや回転を測る機械）を使った高度なセンサー技術を搭載しています。これにより、骨盤の傾きや位置をリアルタイムで把握できます。
- 手術時間の短縮と負担軽減：ナビゲーションが手術をアシストしてくれるため、手術時間が短縮し、低侵襲な手術を実現します。
- 柔軟なアプローチに対応：あお向けの姿勢だけでなく、横向きの姿勢や、さまざまな筋肉の切り方（前方アプローチや後方アプローチ）にも対応します。

③ どんなことができるの？

- カップの正確な設置：骨盤に対する人工関節のカップ（受け皿部分）の角度を、患者さん一人ひとりに合わせて最適な位置に調整できます。
- 脚の長さの調整：手術中に変化する「脚の長さ」や「オフセット（関節の幅）」を測り、術前計画通りに元の状態へ近づけるサポートをします。



2026年7月

東北労災病院 整形外科